

山岳友の会会報

2018年9月 第30号



撮影：渡邊 修

も く じ

第36回茅ヶ岳現地研修会	報告	渡邊 修	2
徳本峠道普請報告	報告	小林 久雄	6

第36回現地研修会「茅ヶ岳登山とワイン」

—第36回茅ヶ岳現地研修会報告—

風薫るさわやかな5月12日(土)の青空の下、平成30年度第1回目となる「茅ヶ岳登山とワインを楽しむ!!」研修会が参加者僅か7名と少数精鋭メンバーにより開催されました!!

行程は信州大学前を6時30分発→JR松本駅→高速で韮崎市IC下車→茅ヶ岳登山口→茅ヶ岳登山→勝沼ぶどうの丘温泉「天空の湯、ワインカーヴでワインを鱧腹試飲(勿論、お土産のワイン等購入)」→松本市へ→市内にて軽く反省会。

アパートを出てコンビニでお茶を購入していると突然携帯電話に久雄さんからの電話が…! 集合時間まではまだ15分もあるのにどうしたのかな? 集合場所までは僅か3~5分程度の距離。何かあったのかな? 久雄:「なべさん! 今何処? 今日の研修会忘れてないよね! もう皆さん集まっていますよ!」なべ:「今、近くのコンビニでお茶を買っていますので5分もかからないうちに到着しますよ。」到着したのは集合時間10分前…**相変わらずせっかちなあ〜!…!**

あれっ!「皆さん揃ったよ!」って言ったけど、たった4名…えっ! 嘘! 皆さんバスの中か! あれっ! 車内には誰もいない。少ない! 小官が25年5月に入会してから参加した研修会では最小催行人員では? でも…バスはチョット大きすぎない? 話を聞くと本日の参加人員は総勢7名との事。皆さん、6月の利尻・礼文のビックイベントを控えて、また、田植えに畑作業等諸行事が重なり参加者が大幅に減ってしまったの開催との事。納得!

6時30分予定通りに信州大学を出発し、JR松本駅アルプス口で3名をピックアップ。全員揃い一路韮崎市茅ヶ岳登山口を目指します。

中型バスで参加者僅か7名! 天気も良いし今日はお大臣様旅行だ! 何時もならばここで、会長のご挨拶、ご発声により「乾杯!」となる筈なのですが、今日は登山を終えるまでは飲酒を控えることとなりました。勿論、登山後のワインカーヴでの試飲もありますから…。本来ならば賑やかな筈のバスの車内も何時に無く静かな状況でした。誰とは申しませんが…! 只一人を除いて!

途中、八ヶ岳SAで休憩を取り、甲府盆地に入り間もなくすると車窓から進行方向左手に茅ヶ岳が見え始めてきました。歓談しているうちにバスは茅ヶ岳登山口に8時過ぎに到着しました。天気も良いので既に駐車場には30台近くの車が所狭しと駐車しています。中には遠く神戸ナンバーの車も。結構! 人気があるんだな! と思っているとバスを見た年配の男性二人組の登山客が近づいて来て一言!「皆さん、バスで来ましたが何処かのイベントツアー登山ですか?」との問いかけに「有志の山の会での登山です。」「へえ〜! このバスで…!」

茅ヶ岳は、日本二百名山、山梨県の百名山で山梨県北杜市明野町の東に位置し、標高1,704mの山です。山容が八ヶ岳によく似ているので「にせ八つ」との異名があります。登山口(駐車場)までは中央道韮崎ICより約15分。とてもアクセスが良い場所故、容易に日帰りでの山行が楽しめるため、地元山梨県民は元より、関東圏の多くの登山客が訪れます。

この山は、昭和39年に「日本百名山」を発表した作家で登山家の深田久弥(ふかだきゅうや)氏の亡くなった山としても知られています。

昭和46年3月26日、日本山岳会のメンバーとともに茅ヶ岳を登っていた氏は、頂上まであとわずかの地点で脳溢血で倒れました。登山口に建てられた深田久弥公園には、氏直筆の「百の頂に百の喜びあり」の言葉が刻まれた記念碑があり、山頂を目指す登山者を励まし

ているとの事ですが、小生は何処に建立されていたのか全く解らず今回は記念碑を見られずに残念でした!!誰か見られましたか？

登山コースは3コースあり

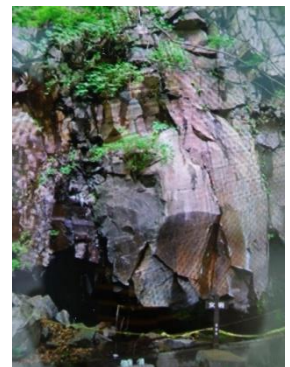
1. 深田公園コース:今回登ったコースで深田ファンにお奨めのコースと言われ、深田記念公園(駐車場)→女岩→茅ヶ岳山頂を往復するコースでコースタイムは往路:2時間30分／復路:1時間40分

今年度初の山行となる小官にはこれ位が丁度良い行程!(何せ、4~5時間が限度のガラスの足と言われており、昨年度の焼岳登山の下山の際には足が痺ってしまっしまい、仁作さんに登山口まで車で迎えに来てもらう等皆さんに多大なるご迷惑をお掛けしていますので…!)

2. 観音峠口コース:観音峠から茅ヶ岳。甲斐市清川地区の最北部にある観音峠から、尾根道を辿るコース。

3. ふれあいの里コース:金ヶ岳を經由して茅ヶ岳への3コースになります。

さて身支度を整え、恒例の久雄さんによる準備体操を入念に行い、8時20分いざ!茅ヶ岳山頂目指し出発。登山道入口から里山風景の針葉樹(アカマツ、カラマツ等)、広葉樹(ナラ、ミズナラ、カエデ等)の混交した樹林の中、緩やかな登山道を暫く歩くと30分で女沢(小さな沢で水は流れていないようです。)に到着、しだいに谷間に入り転石も多くなってきました。更に歩くこと30分。ここまで所要時間丁度1時間。コース唯一の水場である巨岩、女岩にコースタイムより30分早く到着。現在は落石の恐れがあることから登山道に立ち入り禁止のロープが張られ、女岩の場所は解るのですが、樹木や葉に遮られ女岩を見る事ができませんでした。どんな形の巨岩なのでしょう?名前と唯一の水飲み場と言うことなので…!何となく想像をしてしまったのは小官だけでしょうか?(後日ネットで確認しました。)写真はこちら!



流石に緩やかな道とは言え1時間歩くと汗も出てきました!!久雄さんの「大休憩」を合図に落石の危険箇所を避けて安全な場所まで20~30m登り休憩。程なくして堀内さんが到着、雑談を交わしながら水分補給等で15分程度休憩を取り、山頂を目指してもう一頑張り。冬山の茅ヶ岳登山の経験がある久雄さんの話ではここから鞍部まではやや急坂になり、1時間弱で山頂との事。暫く歩くと落ち葉の絨毯に見間違える程のフカフカの登山道が出現したので記念撮影。更につづら折りの坂道を歩く。せっかち組は、全く後ろを気遣う様子もなくさっさと登り続けアツと言う間に視界から消えてしまった。「前に人がいたら追い越せ!」の教えの通りやっぱり、せっかちだ!!

堀内さんと慌てずにマイペースで山頂を目指しながらどれくらい登ったことだろうか…目の前に標柱が出現した!!もしかして…!!此処が深田久弥が亡くなった場所の慰霊地なのか?此処で写真撮影はバチ当たりかな?とも思ったのですが記念写真。深い敬意を祓って合掌!!更に脚を進める。標高が高くなってきているので登山道脇にはトウゴクミツバツツジが咲き、足下、岩場付近



には可憐なコイワカガミが我々を歓迎してくれている!!

岩場の尾根道を登って振り返ると日本一の御山「富士山：3,776m」が姿を現した!!此処でも写真撮影。富士山が見えたので山頂までもう一息だ。山頂では 360 度のパノラマが待っている筈だ。ゆっくり登ってきたので足も快調だ!!せっかち組みに遅れる事 10 分、10 時 20 分漸く茅ヶ岳山頂に到着した!!往路2時間(休憩含め)。コースタイムより 30 分早い。今シーズン初の山登りにしては上々の出来だ。山頂には既に 30 名近くの人が出て、写真を撮ったり昼食を食べている。



北アルプス、八ヶ岳、南アルプス、そして富士山。ご褒美の 360 度のパノラマだ! 昼食を取ってから記念写真を撮影し山頂を後に! 頂上滞在時間 40 分。下山は慎重に慎重を重ね一歩ずつ確実に下る。せっかち組は相変わらずハイペースで下山し、あっという間に視界から消えていった。天気も良いので登山客が次から次へと登ってくる。



「こんにちはー!!もう少しで頂上ですから頑張ってください!!後 5 分ですよ!!頂上ではご褒美の 360 度のパノラマが待っていますよ!!風もなく視界良好ですからね!!今日は最高ですよ!!」と山頂を目指す登山客を励まし、道を譲りながら慎重に下る!!10 ~ 15 分位下った所で両大腿部内側に張りを感じた!!

「おやっ!!まさか?」昨年の焼岳登山時の悪い予感が脳裏を横切る。あの時は石を飛び越えた際に脚がつってしまった!!今日は今年度初の山行とは言え、まだ2時間 15 分程しか歩いていない!!

いつもならば、登山前にアミノバイタルプロ 3600、芍薬甘草湯を服用しウォーミングアップジェルを塗り、万全の準備をしてから登るのですが…!!今日の山は距離も短く急傾斜な場所はない上に荷物もとても軽い。そこまでの必要は無いと考え入念な準備を怠ったのだ!!まだ完全につっていない状態なので、あと1時間程度なら恐らく問題なく下山できる筈だ。そう自分に言い聞かせながら、持っているアミノバイタル、芍薬甘草湯は服用せず、サロメチールも塗布せず無理をしない様にゆっくり下山を続けました。やはり事前の準備は万全にしなければならぬと痛感しました!!反省!!反省!!

女岩まで順調に下りた所で、なんと!横着にも登山道の真ん中に横たわり道を塞いでいる年の頃なら 50 歳位の男性が、その傍らには奥さんらしき登山者がいるではないか!!

おいおい!ちょっとひどすぎるよ。大勢の方が通行するのに道を塞いで休憩するのは余りにも身勝手過ぎないか? 他の方々にも迷惑だし、後々の事も考え、ここはひとつ確りと注意しておこう!!と思ったが、なぜか気がのらなかったのか? 敢えて注意もせず迂回して勿論、声も掛けずに下山する!!

通り過ぎてから堀内さんに「余りにも身勝手に横着な登山客だね!!完全にマナー違反で、いままで見たことがないよ!!やっぱり注意した方が良かったのかな?」何時もなら絶対に注意するのに何故注意しなかったのか今、考えても解らない…!!

まあ今日は我慢しようなど話しながら数多く聞こえる様々な野鳥の心地好い囀りを聞きながら 12 時 30 分駐車場に無事到着した!!せっかち組は 20 分も前に到着したとのこと!!

バスに乗り込むと即、冷えたビールで無事に下山出来たことに感謝して乾杯。一汗かいてからの冷えたビールは格別!!アツと言う間に飲み干してしまいました!!アルコール補充のために途中のコンビニ○○○・11へ直行です!!アルコール類、おつまみ等を購入してバスは一路甲州市勝沼町の「ぶどうの丘」を目指します!!一時間もすれば温泉、ワインカーヴで鱈腹試飲だ!!否応なしに期待は膨らむばかりです!

車中では 試飲前なので控え目に宴会ですが、登山、試飲の話で盛り上がりピッチが上がります!!本当に良く呑みます!!やはり呑んべえだ!!

車中で盛り上がる中、下山時に道を塞いで休憩をしているマナー違反の男性の話になりました。

先発の3名が通り掛かった時は既に道を塞ぎ、横になっていたとの事で、話を聞くと、二人(夫婦かは不明)で登山中、男性が転倒して肩を痛めてしまった為に横になって休んでいたとの事でした!!3名が通り掛かった時には既に頭を下側?に向けて休んでいたとのことです。この様子を見た会長が早速、リュックをクッションがわりに下に敷いて頭を上側に向け、負担の少ない状態にしてから、登頂を止め少し休憩してから下山する様に促したとの事でした!!25年の鳥海山での救援、昨年の月山での無謀な青年への的確なアドバイスに引続き今年も登山者の救援等に携わりました!!流石、北アルプス南部救助隊長。何ともお見事です!!

小官は怪我をしていたとは全く知らず、マナー違反の酷い輩と思ったのですが、注意せずに良かったと思ったのですが、やはり一声掛けるべきであったと反省した次第です!!

バスは 1時間程で甲州市勝沼町の「ぶどうの丘」に到着しました。

早速、山で汗をかき疲れた体を癒やすために温泉に直行。内風呂にはジェットバスも有り、心地好い刺激が疲れた筋肉をほぐします。露天風呂は少しぬるめでしたが青空とロケーションが最高で疲れた体を癒やしてくれました!!1時間ほど温泉に入り、いよいよお楽しみのワインカーヴでの試飲です!!

せっちな皆さんは既にワインカーヴへ移動してしまい誰もいません。!!まだ集合時間前なのに…!!松尾さんがわざわざお風呂迄迎えに来てくれました!!「皆さん先にワインカーヴに行かれましたよ!!」松尾さんだっけ早く呑みたいのにすいません!!

お土産物売り場へ移動し受付で、入場手形となるタートヴァンを 1,100 円で購入。(少人数の参加だったのでバス代への捻出が大きく自腹での購入となりました!!)タートヴァン(きき酒杯)はワインのきき酒に用いる容器で、フランスで古くから使われ、内側の凹凸は、光の反射を利用してワインの色調を良く見るために工夫されている容器です!!



地下のカーヴに降りると、ヒンヤリとしたワインに適した温度の中、お〜っ!目の前に広がるワインの数々。その数 200 種類。「一体何杯呑めるのかな?何杯呑めば元がとれるのかな?」呑む前から気分は高まります。車中でもほどほど呑んでいるのでそう簡単に 200 種類全部は呑めそうにもありません。此れで 1,100 円は安い!!

まずは白ワインコーナーの入口側から順番に回ります。そしてできるだけ価格の高いものからと…!やっぱり貧乏人だな!タートヴァンに7~8分目ほどのワインを注いで呑んでいましたが、いくら小さな容器とはいえ 10 杯も呑んでいるうちにかなり酔いが回って来ました!!「おーっと!これはいかん!!もっと量を少なくしないと赤ワインまで辿り着けないではないか!!ワインの量をタートヴァンの半分くらいに減らし更に呑み続けます!!流石にワインだけでは自ずと限界

が有ります!!そうか！それでおつまみの持ち込みが禁止なのだ！おつまみがあればかなりの量を吞まれて赤字になってしまうではないか…！と思いつつ、先程〇〇〇・11で購入にしたおつまみ(生ハム、牛タン、鮭とば、チーズにナッツ類各種等)をポケットからそっと取り出して先ずは生ハムを口の中へ！旨い！これはいける！また吞めそうだ！ブラックペッパーのきいた牛タン！これまた旨い！さらにはチーズ！やっぱりワインと合う！おつまみが無ければワインだけではだめだな！」おつまみ持って来て良かった！

皆さんと合流したところでさりげなく皆におつまみを渡し吞み続けていましたが、アルコールもかなり回り、記念撮影などして賑やかになってしまい、只でさえ目立つのに…案の定、係員におつまみの持ち込みがばれてしまいました。「お客様！おつまみの持ち込みはご遠慮頂いておりますので…！」「そうでしたか！初めてなので何も知らなかったものでどうもうすいません！」(実は車中で久雄さんからおつまみの持ち込みは禁止と聞いてはいたのですが、多少は許されると都合良く勝手に判断しコンビニでワインに合うつまみを購入したのです。)と頭を下げつつも係員に見つからぬ様におつまみを食べながら赤ワインコーナーへと移動し吞み続けました。楽しみに後から回った赤ワインコーナーには触手の動く好みのワインが見つけれずに、白ワインコーナーに戻り好みのワインを何杯もいただきました。お土産用に、久雄さんお勧めの口当たりの良い無濾過の白ワインを2本購入し、バスへ戻りました。

さて何杯吞んだことでしょうか！杯数は数えていませんが…！只、間違なく言えることは、おつまみのお陰でワインも美味しく、沢山吞めて十分元を取ったことだけは事実です。今回、参加されなかった皆さんもお伺いする機会がありましたら、個人毎におつまみを小分けしてそっとポケットに忍ばせておき、こっそりと取り出しながら回るのをお勧めします…が、盗難防止のための監視カメラがあったかどうかは定かではありません。

バスは勝沼駅で松尾さんを降ろしてから、一路松本を目指しました。バスが松本に戻るまで宴会は続きました。

松本に到着してから、有志で紗々やかな？反省会を行ったのは言うまでもありません！参加されました皆さん！お疲れ様でした。

レポーター：ペンネーム：瀬祭036(DASSAI036)ことドラエモン



徳本峠道普請報告

5月29日、徳本峠の道普請に参加しました。25名でウエストン祭に向けて道普請です。去年の橋を延長して、崩れた道普請に汗しました。散りぎわのヤマシャクにも出逢い感動ですねえ～～♡晴れ間にも恵まれて無事終了しました。

小林 久雄



信州大学山岳友の会会報 第30号
発行日：2018年9月3日
発行：信州大学山岳友の会
〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1
信州大学山岳友の会事務局
TEL：0263-37-3332
FAX：0263-37-2438
E-mail：suims@shinshu-u.ac.jp